

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2397600012
事業所名	グループホーム第二あま恵寿荘

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	交流センターを開放して「ふれあい認知症カフェ」(包括主催)の会場として提供している。 ボランティアを積極的に受け入れ、保育園児との交流や小学校の「街探検」の受け入れ等、双方向の交流がある。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	同法人のグループホームと合同開催の形をとっており、利用者、家族、行政、地域包括支援センター、民生委員、消防関係者、ボランティア等が参加し開催している。 ホームからの各種報告に続き意見交換が行われている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	運営推進会議には、行政枠として市・高齢福祉課と地域包括支援センターの職員が出席している。 地域包括支援センター主催の「ふれあい認知症カフェ」に会場を提供し、管理者が市の窓口にも顔を出して関係作りに努めている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	家族のホーム訪問は多く、面会時には管理者が対応し、不在時には職員が利用者の様子を伝えて信頼関係を構築している。 家族から「花が好きなので花壇が欲しい」との要望があり、利用者個人の花壇が出来た。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	○	×	○	○	○	○			